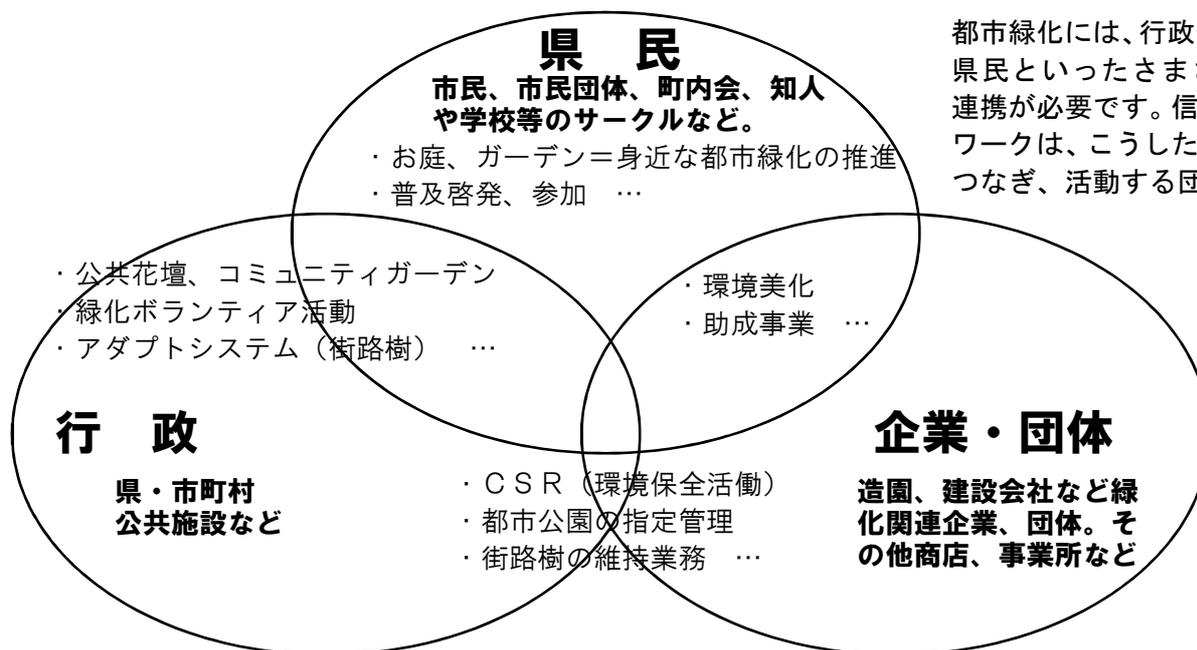
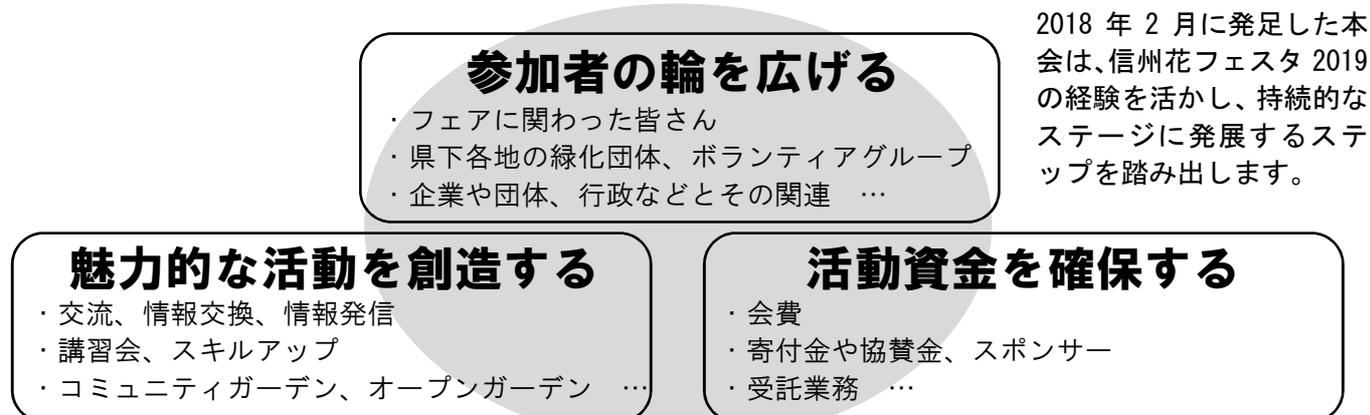


信州緑花ネットワーク 事業展開イメージ

1. 都市緑化に関する全県組織【県民と行政、企業・団体等との連携】として



2. 信州緑花ネットワークの持続的な運営にむけて



3. どんな活動からスタートするか？ 活動イメージ

- ①『信州花フェスタミーティング』 毎年5月、スカイパークに集まろう！メモリアルイベント
宿根草の持ち寄り、生産者グループの販売会、相談デスク、活動紹介、交流会
知って、買って、おすそ分けも。思い出の地、ここで集い、活動の原点で思いを新たにしよう！

②プロジェクトチームを作ろう！

- ・『おおまちシェードガーデンサポートチーム』

国営アルプスあづみの公園（大町・松川地区）で「趣味の園芸」の特集で制作されたシェードガーデンを、講師といっしょにメンテナンスし、シェードガーデンの魅力を県内外に発信するプロジェクトチーム。管理センターの協力により、チームが中心となって参加者を募りながら開催する。

・同様の手法により、メイン会場でも、何か残せないか、検討し、提案を行う。

③『信州グリーンシェアスポット』の継続と発展

信州花フェスタ 2019 では、県下全 44 市町村 221 箇所に点在する花や緑を楽しむことのできる施設、場所、イベントを『信州グリーンシェアスポット』として募集、登録し、全県を挙げての都市緑化の波及や周遊観光などを促進し、地域振興に寄与できる展開に取り組んだ。今回、その事業を当会が承継することになったことから、事業の継続と発展を考えていきたい。

- ・ホームページによる情報発信の継続 → 会員としての入会勧奨
- ・スポットをめぐって、関わっている方に見どころやテクニックなどを紹介してもらう見学会
- ・観光関連団体、企業などとタイアップして、「信州ガーデンめぐり」などの発展はできないか。
- ・「ザ・信州ガーデン」のセレクト、「信州ガーデン街道」…。グリーンフィンガーズやフラワーパートナーズの皆さんにも加わってもらって、セレクトしてみてもは！
- ・花フェスタでも、花の見どころや場所の問い合わせが多かったので、巧い情報提供ができれば。

④全県、エリアで集まろう！

信州スカイパーク：メイン会場でもあったことから、全県の拠点（＝緑花のシンボル）

東信、北信、中信、南信ぐらゐのエリアでの集まりを具体化してみてもは（遠路の集まりは厳しい？）

⑤企業や団体、行政に協力してもらおう！参加して得られるメリットの具現化。

各種ポイントのタイアップ（参加ポイント）、苗の共同購入（会員特価）、園芸相談や診断・治療など専門家のアドバイス（会員サービス）、コミュニティガーデンなど活動の場（行政機関への働きかけ、提案）など、信州緑花ネットワークだからできる会員メリットを探ろう。

■本資料は、これまでの役員懇談会などで出された意見などを基にして、検討している事業計画のイメージです。こんなことをしてみたい！など、皆様のアイデア、ご意見などをお待ちしています！事務局までご一報ください。

信州緑花ネットワーク 事務局

一般社団法人社会活動機構 OASIS 担当：宮入、小林、折井

〒381-2217 長野県長野市稲里町中央三丁目 33 番 23 号 株式会社KRC内

電話 026-285-7670 F A X 026-254-7301

メール info@landscape-shinshu.net

ホームページ <https://landscape-shinshu.net/>